

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：兵庫医科大学薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	2	18-21	兵庫医科大学の <u>教育理念</u> である 「人間への深い愛と豊かな人間性 を持ち、幅広い知識と優れた技術 を備え、 <u>社会とともに医療を担う</u> 医療専門職者を育成する」を踏ま えつつ、	兵庫医科大学の <u>使命</u> である「人間 への深い愛と豊かな人間性を持 ち、幅広い知識と優れた技術を備 え、 <u>かつ科学的な理解に基づい</u> <u>て、社会の福祉に奉仕できる</u> 医療 専門職者を育成する」を踏まえつ つ、
2	2	26	広く貢献できる <u>医薬品の専門職者</u>	広く貢献できる <u>薬剤師</u>
3	2	31-32	全人的医療を支えることのできる <u>医薬品の専門職者</u>	全人的医療を支えることのできる <u>薬剤師</u>
4	8	6	<u>兵庫医療大学薬学部カリキュラム・ ポリシー</u>	<u>兵庫医科大学薬学部カリキュラム・ ポリシー</u>
5	17	16	2022（ <u>令和5</u> ）年度6月薬学部教 授会で承認された	2022（ <u>令和4</u> ）年度6月薬学部教授 会で承認された
6	27	表 2- 2-1	<u>学生委員会</u>	<u>学生部委員会</u>
7	27	表 2- 2-1	<u>薬学部教育センター</u>	<u>薬学教育センター</u>
8	29- 30	表 2- 2-3		赤字部分の数値を修正
9	31	表 2- 2-4		赤字部分の数値を修正
10	35	10	必修科目 <u>185.5</u> 単位	必修科目 <u>184.5</u> 単位
11	55	33	改善すべき点 <u>9</u>	改善すべき点 <u>8</u>
12	60	15	<u>評価票</u> の書式については、	<u>評価表</u> の書式については、
13	89	表 3- 3-1-2		受験者数を追記
14	107	11	全ての <u>校</u> 推薦型選抜	全ての <u>学校</u> 推薦型選抜

	頁	行	誤	正
15	110	21-23	薬学博士 <u>18</u> 名、医学博士 <u>16</u> 名、 <u>工学博士</u> 3 名、 <u>理学博士</u> 2 名、 <u>獣</u> <u>医学博士</u> 2 名、 <u>歯学博士</u> 1 名、 <u>社</u> <u>会工学博士</u> 1 名	薬学博士 <u>4</u> 名、 <u>博士（薬学）</u> 14 <u>名</u> 、 <u>医学博士</u> <u>2</u> 名、 <u>博士（医学）</u> <u>14</u> 名、 <u>博士（工学）</u> 3 名、 <u>博士</u> <u>（理学）</u> 2 名、 <u>獣医学博士</u> 1 名、 <u>博士（獣医学）</u> 1 名、 <u>博士（歯学）</u> <u>1</u> 名、 <u>博士（社会工学）</u> 1 名
16	124	6-7	夏季においては、・・・を毎年開催 している。	<u>全学学生を対象としたイベントを</u> <u>2022 年度は 4 回開催し、夏季にお</u> <u>いては、・・・を毎年開催してい</u> <u>る。（資料 233～236）</u>
17	124	18-19	学生相談室では、・・・ <u>主催してい</u> <u>る。（資料 233～236）</u>	学生相談室では、・・・ <u>主催してい</u> <u>たが、2022 年度はコロナ禍のため</u> <u>に開催できなかった。</u>
18	125	36	主に <u>薬局・</u> を志望する・・・	主に <u>薬局</u> を志望する・・・
19	132	17	<u>2006</u> 名	<u>2,264</u> 名
20	132	26	グループ学習室 <u>20</u> 室	グループ学習室 <u>18</u> 室
21	133	20	グループ学習室 (<u>20</u> 室) <u>120</u> 席	グループ学習室 (<u>18</u> 室) <u>126</u> 席
22	139	2	依頼が <u>あれば</u>	依頼が <u>あり</u>

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	1				資料 91 を移動
2	10	表 2	水痘 抗体価が不十分なた めワクチン接種をし た学生数	17	16
3	11-1	1			赤字部分の数値を修正
4	11-2	1	表 2	RI 実験センター	RI 実験室

表 2-2-3. 教育研究活動の改善(「IV. 大学への提言」に対する改善報告についての審議結果*で改善されたと判定されたもの)

改善すべき点	指摘された問題点	根拠資料
1	教育研究上の目的に、「研究を通して～」などの文言を入れて表記し、学則等に明示する必要がある。	資料 46 p1-3 2022 年度自己点検評価書 基準 1-1 p4
2	卒業研究である「研究研修」/「チーム医療研修」のシラバスには、「研究活動に参加する際に基盤となる薬学に関する体系的・包括的な学識を、演習を通じて確固たるものとする。」と明記されているが、5月～12月まで開講している演習は、事実上国家試験対策である。これは、6年次の卒業研究に充てるべき時間を国家試験準備教育に充てていることで、6年次のカリキュラム編成が国家試験準備教育に過度に偏重していると言わざるを得ないので、早急に改善すべきである。	資料 46p4,5 2022 年度自己点検評価書 基準 3-1-1p46
4	国家試験予備校講師が「卒業要件単位の対象となる(必修)科目」の演習授業の多くを担当していることは、重大な問題であり、自大学の教員が担当するように、早急に改善すべきである。	資料 46 p7,8 2022 年度自己点検評価書 基準 3-1-1p46
6	シラバスに記述された到達目標からは、薬学教育モデル・コアカリキュラムに記述された到達目標と対応していることが確認できない科目がある。これらを是正し、6年制薬学教育に必要な多くの到達目標を必修科目として教育する必要がある。	資料 46 p12,13 2022 年度自己点検評価書 基準 3-1-1p39
8	「実務実習事前学習」の成績評価方法において、実習評価が 25%で、50%が単位認定試験・中間試験・科目別学力試験・総合学力試験等の知識領域のみの評価としていることは問題であり、適切な評価割合に改善する必要がある。	資料 46p16,17 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-1p55
9	「実務実習事前学習」の技能・態度領域の目標到達度を評価するための指標を設定し、それに基づいて評価を行うことが必要である。	資料 46 p18 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-1p54
10	「研究実習」の成績評価は研究指導教員のみで行われており、評価に関して十分な客観性があるとはいえないので、改善が必要である。	資料 46 p19,20 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-1p52
13	各科目のシラバスに記載されている「成績の評価方法」において複数の評価方法を用いる場合(筆記試験、レポート、出席点、など)、最終結果に対する寄与率を示す必要がある。公平な評価のために、評価方法ごとに成績評価の具体的方法とその比率をシラバス等に明示する必要がある。	資料 46 p27 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-2p68
14	卒業研究科目である「研究研修」/「チーム医療研修」(必修)の単位を、研究とは直接的な関連があるとは思えない国家試験準備科目である「演習総合試験」の成績で評価している点は重大な問題であり、早急に改善すべきである。	資料 46 p28-31 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-2p70

15	6年次の卒業判定となる試験として「演習総合試験」が複数回実施されているが、それに薬剤師国家試験予備校が主催する模擬試験を流用していることは、学士課程の修了が基準に従って公正かつ厳格に行われているとは言えないので、早急に改善すべきである。	資料 46 p28-31 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-2p70
16	「演習総合試験」の合格基準をシラバスなどで明示せずに試験を実施し、不合格者を留年・卒業延期としていることは大きな問題であり、早急に改善すべきである。	資料 46 p28-31 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-2p70
17	教務に関する規程では、留年者に関しては不合格の必修科目は再履修することになっているのにもかかわらず、6年次留年生は大学ではなく、薬剤師国家試験予備校の講習会への参加で代替えにしている点、さらに、薬剤師国家試験予備校の講習会への出席状況を秋季修了判定に加味している点は大きな問題であり、早急に改善すべきである。	資料 46p28-31 2022 年度自己点検評価書 基準 3-2-2p70
18	大学ホームページの「情報の公表」の「研究業績DB」において、最近5年間における教育研究上の業績が更新あるいは開示されていない教員が複数名確認される。この件について大学は自己点検していないので、改善する必要がある。	資料 46p32,33 2022 年度自己点検評価書 基準 5-2p113
19	薬学部として6年制薬学教育プログラムの自己点検・評価を組織的かつ定期的を実施し、その結果を教育研究活動に反映する体制を整備し、機能させる必要がある。	資料 46p34,35 2022 年度自己点検評価書 基準 2p19

*2019（令和元）年度に提出された「「IV. 大学への提言」に対する改善報告についての審議結果」（資料 46）のこと。

表 2-2-4. 教育研究活動の改善2（「IV. 大学への提言」に対する改善報告についての審議結果*でさらなる改善が求められたもの）

改善すべき点	教育研究活動の改善結果	指摘された問題点	根拠資料
3	<p>「IV.大学への提言」に対する改善報告についての審議結果では、「これらのことが上記(5)の添付資料から確認できたことから、指摘された問題点は改善されたものと判断できるものの、47.5週間の卒業研究期間を取るとすると5年次にはかなり過密なスケジュールになることが危惧されるので、今後さらなる改善が行われることを期待する。」と評価された。その後、2013・2014年度入学制カリキュラムでは「研究実習」(第5学年次必修10単位)＋「研究研修Ⅰ」(第6学年次必修5単位)だったが、2015～2021年度入学生のカリキュラムでは、「新・研究実習」(12.5単位)＋「研究研修Ⅰ」(第6学年次必修2.5単位)となり、「新・研究実習」は第4学年次後期から開始されるようになった。従って2019年度と同程度の研究期間を維持している。</p>	<p>卒業研究の期間が第5学年次、第6学年次をあわせても1年に満たないことは、問題解決能力醸成のための時間が足りないことを意味しており、卒論研究の時間を充分にとることが必要である。</p>	<p>資料 46 p6 2022年度自己点検評価書 基準 3-1-1p46</p>
5、11、助言 18	<p>(1) 2015(平成27)年度の薬学教育評価機構による「評価報告書」で指摘を受けた改善すべき点5(右記1)は、「IV.大学への提言」に対する改善報告についての審議結果では、「以上の対応は提出された上記資料(5)により確認できる。しかし、ヒューマニズム・医療倫理教育およびコミュニケーション能力を身につけるための教育の総合的な目標達成度の評価としては不十分であり、今後の改善が求められる。」と評価された。</p> <p>(2) 改善すべき点11(右記2)は、「IV.大学への提言」に対する改善報告についての審議結果では、「以上の対応は提出された上記資料(5)により確認できる。しかし、問題解決能力の醸成に向けた教育の総合的な目標達成度の評価としては不十分であり、今後の改善が求められる。」と評価された。</p> <p>(3) 助言18(右記3)では、「教育研究上の目的に基づいた教育に対する総合的な学習成果について、指標を定めて評価することが望ましい。」と指摘された。</p> <p>以上、教育の総合的な目標達成度を評価</p>	<p>(1) ヒューマニズム教育・医療倫理教育およびコミュニケーション能力を身につけるための教育の総合的な目標達成度を評価するための指標を設定し、これに基づいて評価を行うことが必要である。</p> <p>(2) 問題解決能力の醸成に向けた教育において総合的な目標達成度を評価するための指標を設定し、それに基づいた評価を実施する必要がある。</p> <p>(3) 教育研究上の目的に基づいた教育に対する総合的な学習成果について、指標を定めて評価することが望ましい。</p>	<p>資料 46 p9-11 資料 46 p21-23 2022年度自己点検評価書 基準 3-2-4 p76-78</p>

表 3-3-1-2. 2022（令和4）年度薬学共用試験日程と結果

	実施日程	受験者数	合格者数	合格基準
CBT	本試験：2022年12月15日 追再試験：2023年2月15日	115人	107人	正答率60%以上
OSCE	本試験：2022年12月4日 追再試験：2023年2月20日	115人	114人	細目評価70%以上 概略評価5以上
共用試験		115人	106人	

（受験者数以外は、2023（令和5）年4月よりホームページに掲示）

(基礎資料11-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

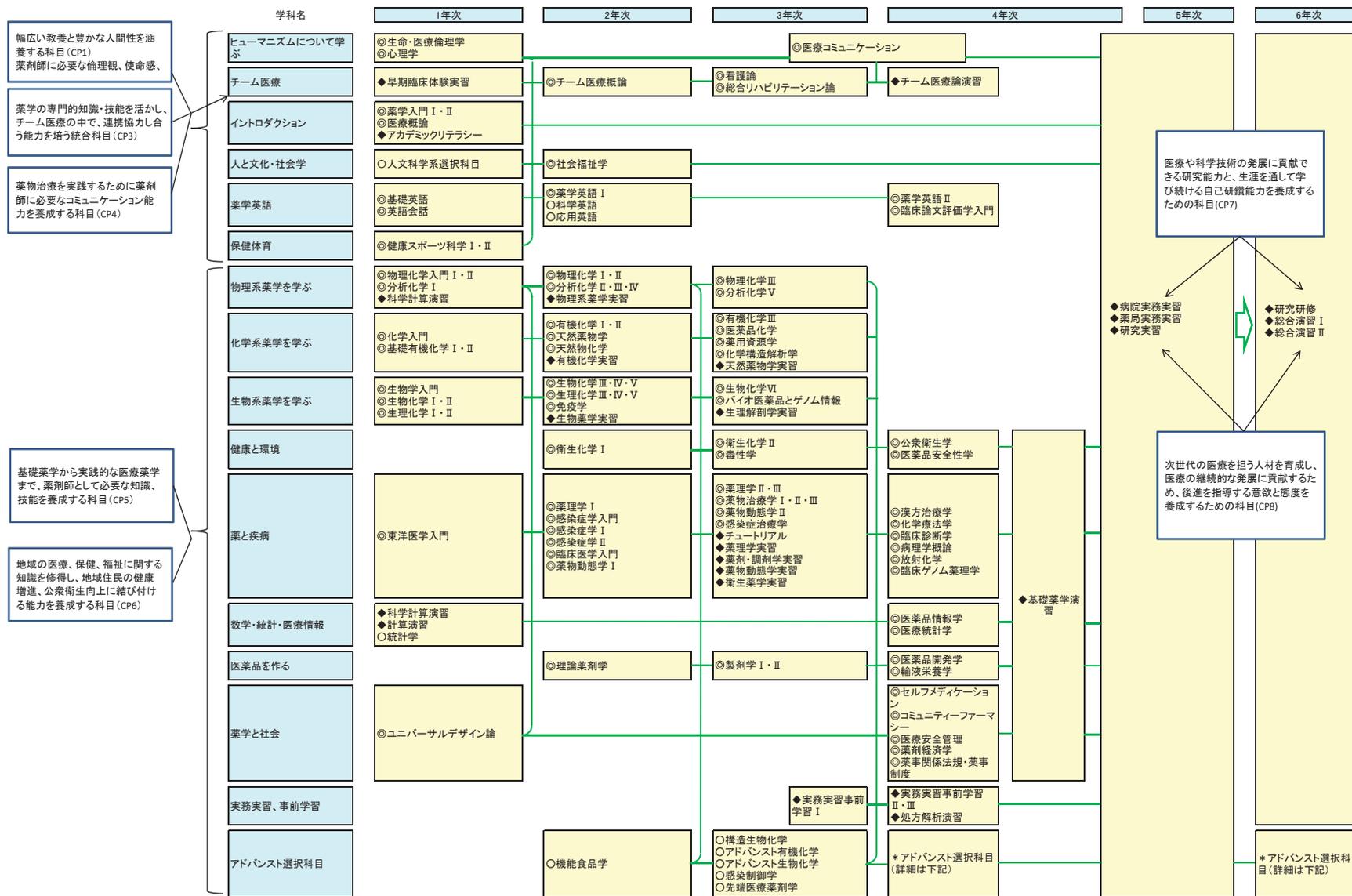
施設 ¹⁾		座席数	室数	収容人員合計	備考
講義室・演習室 ²⁾	コンピューター室	102、116	2	218	2部屋はCBTにも使用
	大講義室	258、204	2	462	固定席
	中講義室	125～200	7	1256	固定席 (152座席×3部屋、200座席×4部屋)
	小講義室	65～78	8	546	可変席 (65座席×6部屋、78座席×2部屋)
実習室	模擬薬局		2	-	
	薬学実習室		4	-	1室は基礎医学実習室
自習室等 ³⁾	図書館グループ学習室	7	18	126	
	国試対策コーナー	34	1	34	
	オープンカンファレンス	4～12	22	148	
	ラウンジ	6～78	11	302	
薬用植物園	※以下の概要を任意の様式で記載してください。 ① 設置場所 (キャンパス内グラウンド横) ② 施設の構成と規模 温室51.07㎡ 圃場597.86㎡ ③ 栽培している植物種の数 約156種 ④ その他の特記事項				

- [注] 1) 総合大学では薬学部での教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。
- 2) 講義室・演習室には収容人数による適当な区分を、例示を参考に設けて、同じ区分での座席数の範囲を示してください。また、固定席か可変席か、その他特記すべき施設なども、例示を参考にして備考欄に記入してください。コンピューター演習室の座席数は学生が使用する端末数としてください(教卓にあるものを除く)。
- 3) 学生が自習などの目的で自由に利用できる開放スペースがあれば記載してください。

- 薬学部医療薬学科履修系統図
- カリキュラムマップ
- カリキュラムツリー

薬学部医療薬学科 履修系統図(2022(R4)年度～ 入学生用)

「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)」に準拠した授業科目と本学が独自に設定した次の授業科目を組み入れた特色あるカリキュラムを編成します。



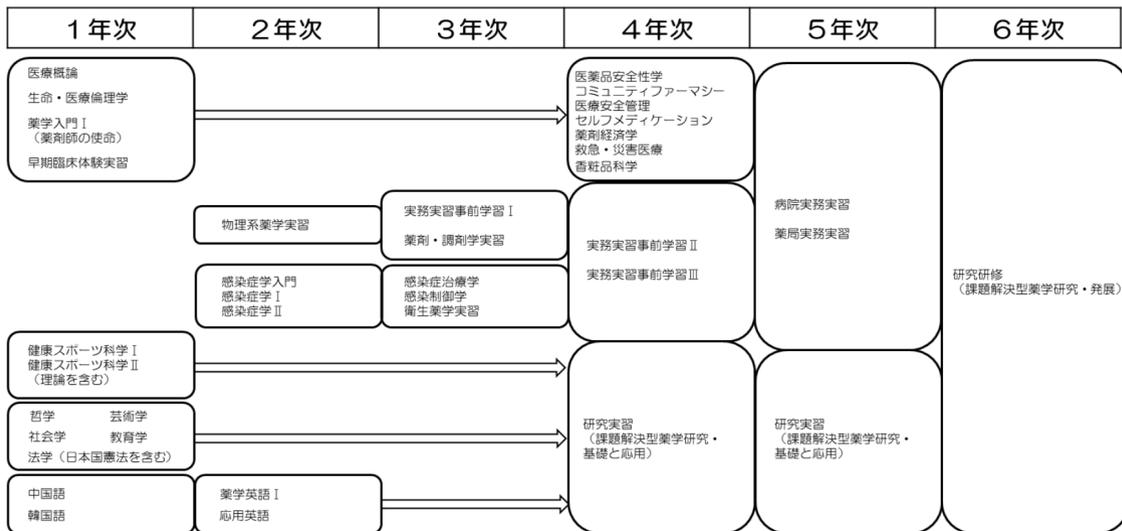
OP: カリキュラムポリシー、◎必修科目、○選択科目、◆選択必修科目、◆実習・演習科目(必修)

* <人文科学系選択科目>
○哲学、○人間発達学、○芸術学、○社会学、○臨床心理学、○教育学、○法学、●中国語、●韓国語

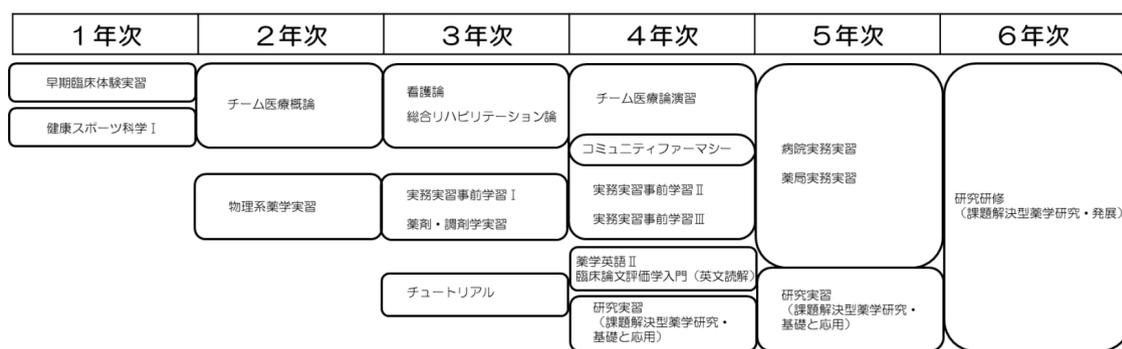
* <アドバンスト選択科目>
2・6年次配当科目: ○機能食品学
3・4年次配当科目: ○構造生物化学、○アドバンスト有機化学
3・6年次配当科目: ○アドバンスト生物化学、○感染制御学、○先端医療薬理学
4・6年次配当科目: ○アドバンスト物理化学、○生物有機化学、○創薬化学、○糖鎖生物学、○糖鎖創薬学、○腫瘍生物学、○ペプチド医薬品学、○アドバンスト薬物治療学、○漢方方剤学、○漢方薬理学、○薬物相互作用学、○臨床薬効評価学、○新薬局論、○救急・災害医療、○化粧品科学

～2021年度 カリキュラム						ディプロマポリシー									2022年度～ カリキュラム										
科目名	配当 年次	開講 学期	必須 区分	単位	分野	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	科目名	配当 年次	開講 学期	必須 区分	単位	分野					
大學生のリテラシー																									
アカデミックリテラシー	1	前期	必修	2	基礎				DP4						アカデミックリテラシー	1	前期	必修	2	基礎					
医療概論	1	前期	必修	1	基礎	DP1									医療概論	1	前期	必修	1	基礎					
導入教育科目																									
化学									DP4						化学入門	1	前期	必修	2	基礎					
基礎物理化学	1	後期	必修	1	専門				DP4						物理化学入門Ⅰ	1	前期	必修	1	基礎					
数理科学入門	1	前期	必修	2	基礎				DP4						物理化学入門Ⅱ	1	後期	必修	1	基礎					
基礎生物学	1	前期	必修	1	基礎				DP4						生物学入門	1	前期	必修	2	基礎					
基礎化学	1	前期	必修	1	基礎				DP4						概論										
新・薬学入門Ⅰ（薬剤師の使命）	1	前期	必修	1	専門	DP1									薬学入門Ⅰ（薬剤師の使命）	1	前期	必修	1	基礎					
新・薬学入門Ⅱ（薬と病気の科学）	1	前期	必修	1	専門				DP4						薬学入門Ⅱ（薬と病気の科学）	1	前期	必修	1	基礎					
計算演習	1	前期	必修	1	基礎								DP7		計算演習	1	前期	必修	1	基礎					
基礎科目																									
健康スポーツ科学Ⅰ	1	前期	必修	1	基礎	DP1	DP2								健康スポーツ科学Ⅰ	1	前期	必修	1	基礎					
健康スポーツ科学Ⅱ（理論を含む）	1	後期	必修	1	基礎	DP1					DP6				健康スポーツ科学Ⅱ（理論を含む）	1	後期	必修	1	基礎					
物理学	1	後期	必修	2	基礎				DP4						概論										
生物学	1	後期	必修	2	基礎				DP4						生物学入門	1	前期	必修	2	基礎					
統計学	1	後期	選択	2	基礎							DP7			統計学	1	後期	選択	2	基礎					
心理学	1	前期	必修	2	基礎			DP3	DP4						心理学	1	前期	必修	2	基礎					
哲学	1	前期	選択	2	基礎	DP1									哲学	1	前期	選択	2	基礎					
人間発達学	1	前期	選択	2	基礎			DP3			DP6				人間発達学	1	前期	選択	2	基礎					
生命・医療倫理学	1	後期	必修	2	基礎	DP1									生命・医療倫理学	1	後期	必修	2	基礎					
芸術学	1	前期	選択	2	基礎	DP1									芸術学	1	前期	選択	2	基礎					
社会学	1	前期	選択	2	基礎	DP1									社会学	1	前期	選択	2	基礎					
臨床心理学（カウンセリング論を含む）	1	後期	選択	2	基礎			DP3			DP6				臨床心理学（カウンセリング論を含む）	1	後期	選択	2	基礎					
教育学	1	前期	選択	2	基礎	DP1									教育学	1	前期	選択	2	基礎					
法学（日本国憲法を含む）	1	後期	選択	2	基礎	DP1									法学（日本国憲法を含む）	1	後期	選択	2	基礎					
外国語																									
基礎英語	1	前期	必修	2	基礎			DP3							基礎英語	1	前期	必修	2	基礎					
英語会話	1	後期	必修	2	基礎									DP8	英語会話	1	後期	必修	2	基礎					
科学英語	2	前期	選択	2	基礎									DP8	科学英語	2	前期	選択	2	基礎					
応用英語	2	後期	選択	2	基礎	DP1									応用英語	2	後期	選択	2	基礎					
中国語	1	後期	選択	2	基礎	DP1									中国語	1	後期	選択	2	基礎					
韓国語	1	後期	選択	2	基礎	DP1									韓国語	1	後期	選択	2	基礎					
臨床体験																									
早期臨床体験実習	1	前期	必修	1	基礎	DP1	DP2								早期臨床体験実習	1	前期	必修	1	基礎					
専門基礎分野																									
薬学英語	3	前期	必修	1	専門基礎		DP2							DP8	薬学英語Ⅱ	4	前期	必修	1	専門基礎					
医療英語	4	後期	必修	1	専門基礎	DP1								DP8	臨床論文読解学入門（英文読解）	4	後期	必修	1	専門基礎					
医療コミュニケーション	3～4	年度跨り	必修	1	専門基礎			DP3							薬学英語Ⅰ	2	後期	必修	1	専門基礎					
チーム医療概論	2	後期	必修	1	専門基礎		DP2								医療コミュニケーション	3～4	年度跨り	必修	1	専門基礎					
看護論	3	前期	必修	1	専門基礎		DP2								チーム医療概論	2	後期	必修	1	専門基礎					
総合リハビリテーション論	3	前期	必修	1	専門基礎		DP2								看護論	3	前期	必修	1	専門基礎					
チーム医療演習	4	前期	必修	1	専門基礎		DP2								総合リハビリテーション論	3	前期	必修	1	専門基礎					
チュートリアル	3	前期	必修	1	専門基礎		DP2							DP8	チーム医療演習	4	前期	必修	1	専門基礎					
社会福祉学	2	前期	必修	2	専門基礎						DP6				チュートリアル	3	前期	必修	1	専門基礎					
ユニバーサルデザイン論	1	後期	必修	1	専門						DP6				社会福祉学	2	前期	必修	2	専門基礎					
科学計算演習	1	後期	必修	1	専門基礎				DP4						ユニバーサルデザイン論	1	後期	必修	1	専門基礎					
医療統計学	3	後期	必修	1	専門基礎								DP7		科学計算演習	1	後期	必修	1	専門基礎					
物理系薬学																									
基礎物理化学	1	後期	必修	1	専門				DP4						基礎物理化学	1	後期	必修	1	基礎					
新・物理化学Ⅰ（物質の構造）	2	前期	必修	1	専門				DP4						物理化学Ⅰ（物質の構造）	2	前期	必修	1	専門					
新・物理化学Ⅱ（物質の性質）	2	後期	必修	1	専門				DP4						物理化学Ⅱ（物質の性質）	2	後期	必修	1	専門					
新・物理化学Ⅲ（エネルギーと平衡）	3	後期	必修	2	専門				DP4						物理化学Ⅲ（エネルギーと平衡）	3	後期	必修	2	専門					
構造生物化学	3・4	後期	選択	1	専門				DP4					DP8	構造生物化学	3・4	後期	選択	1	専門					
アドバンスト物理化学	4・6	前期	選択	1	専門				DP4						アドバンスト物理化学	4・6	前期	選択	1	専門					
新・分析化学Ⅰ（無機錯体化学）	2	前期	必修	1	専門				DP4					DP8	新・分析化学Ⅰ（無機錯体化学）	1	後期	必修	1	専門					
新・分析化学Ⅱ（容量分析）	2	前期	必修	1	専門				DP4					DP8	分析化学Ⅱ（容量分析）	2	前期	必修	1	専門					
新・分析化学Ⅲ（分光分析）	2	後期	必修	1	専門				DP4					DP8	分析化学Ⅲ（分光分析）	2	前期	必修	1	専門					
新・分析化学Ⅳ（分離分析・臨床分析）	2	後期	必修	1	専門				DP4					DP8	分析化学Ⅳ（重量分析・定性分析・分離分析）	2	後期	必修	1	専門					
物理系薬学実習	2	前期	必修	1.5	専門	DP1	DP2	DP3	DP4					DP7	分析化学Ⅴ（臨床分析・画像診断）	3	後期	必修	1	専門					
化学系薬学																									
基礎有機化学Ⅰ（基礎と立体化学等）	1	前期	必修	1	専門				DP4						基礎有機化学Ⅰ（基礎と立体化学等）	1	前期	必修	1	専門					
基礎有機化学Ⅱ（基本的な有機反応、芳香族化合物等）	1	後期	必修	1	専門				DP4						基礎有機化学Ⅱ（基本的な有機反応）	1	後期	必修	1	専門					
新・有機化学Ⅰ（基礎とアルカン等）	2	前期	必修	2	専門				DP4						有機化学Ⅰ（基礎とアルカン等）	2	前期	必修	2	専門					
新・有機化学Ⅱ（求核置換等）	2	後期	必修	2	専門				DP4						有機化学Ⅱ（求核置換等）	2	後期	必修	2	専門					
新・有機化学Ⅲ（求電子置換等）	3	前期	必修	2	専門				DP4						有機化学Ⅲ（求電子置換等）	3	前期	必修	2	専門					
新・医薬品化学	3	後期	必修	1	専門				DP4						医薬品化学	3	後期	必修	2	専門					
生物有機化学	4・6	後期	選択	1	専門				DP4						概論										
創薬化学	4・6	前期	選択	1	専門				DP4						創薬化学	4・6	前期	選択	1	専門					
アドバンスト有機化学	3・4	後期	選択	1	専門				DP4						アドバンスト有機化学	3・4	後期	選択	1	専門					
新・薬用資源学	3	前期	必修	2	専門				DP4						薬用資源学	3	後期	必修	1	専門					
新・天然薬物学	2	前期	必修	2	専門				DP4						化学構造解析学	3	前期	必修	1	専門					
香粧品科学	4・6	後期	選択	1	専門	DP1			DP4						天然薬物学	2	後期	必修	1	専門					
新・有機化学実習	2	後期	必修	1	専門				DP4						天然物化学	2	前期	必修	1	専門					
新・天然薬物学実習	3	前期	必修	1	専門				DP4	DP5					香粧品科学	4・6	後期	選択	1	専門					
生物																									

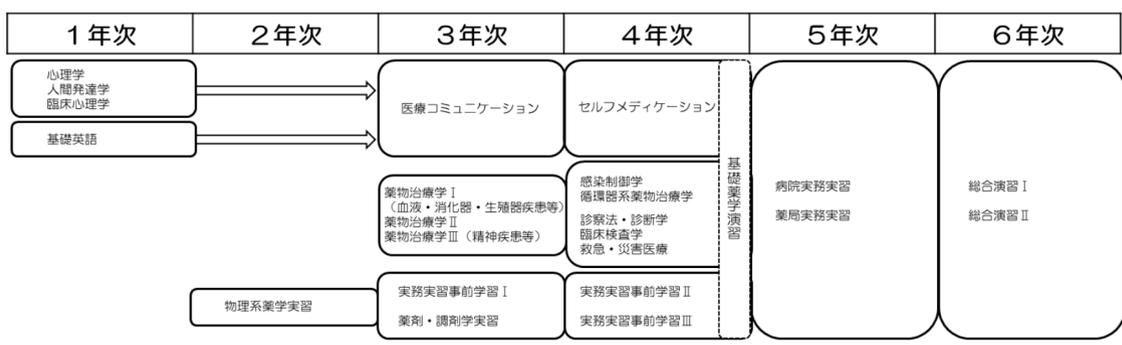
2022年度～ カリキュラムツリー



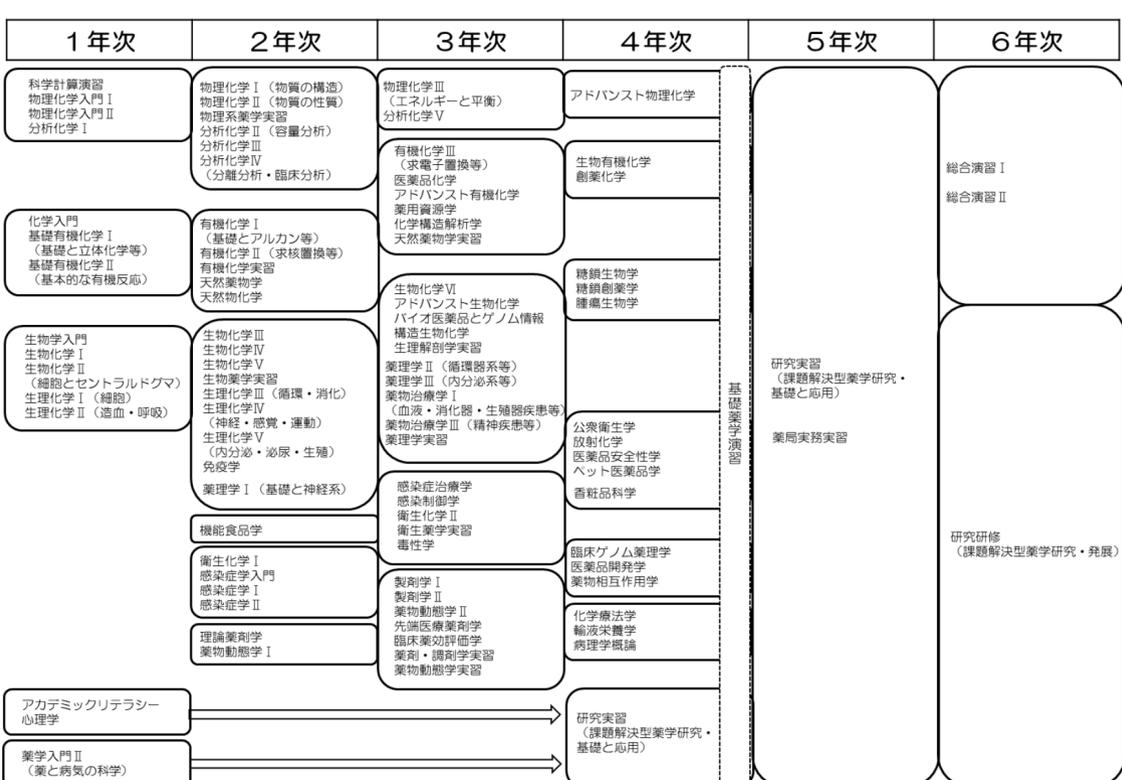
DP1:
幅広い教養と豊かな人間性を持ち、医療専門職者に必要な倫理観、使命感、責任感を有する



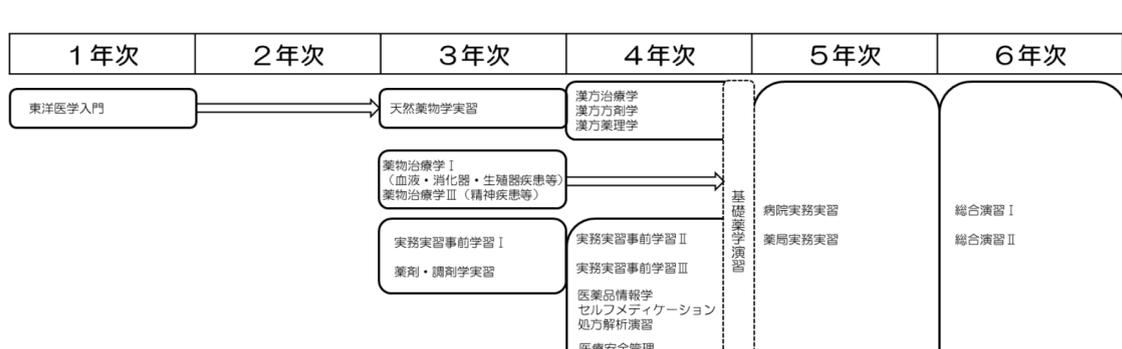
DP2:
チーム医療の一員として、他の医療専門職者とコミュニケーションを取り、互いの立場を理解し尊重しながら、薬剤師として貢献することができる



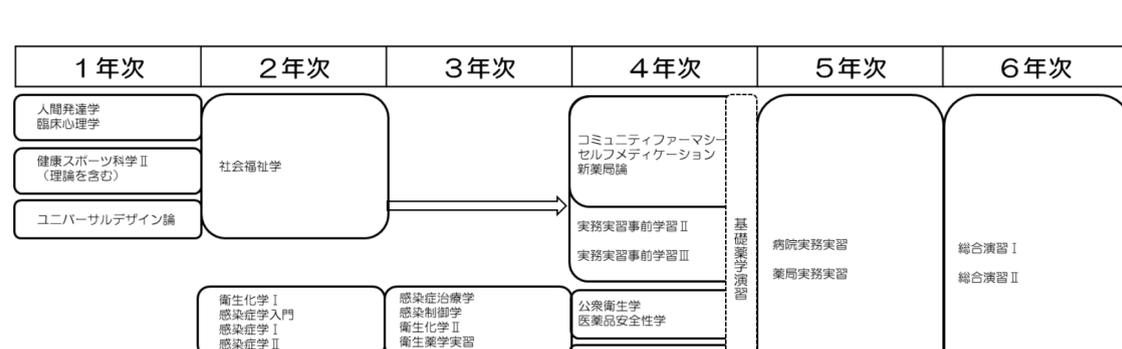
DP3:
十分なコミュニケーション能力を有し、患者の病態のみならず心理的・社会的背景を理解したうえで薬物治療を実践することができる



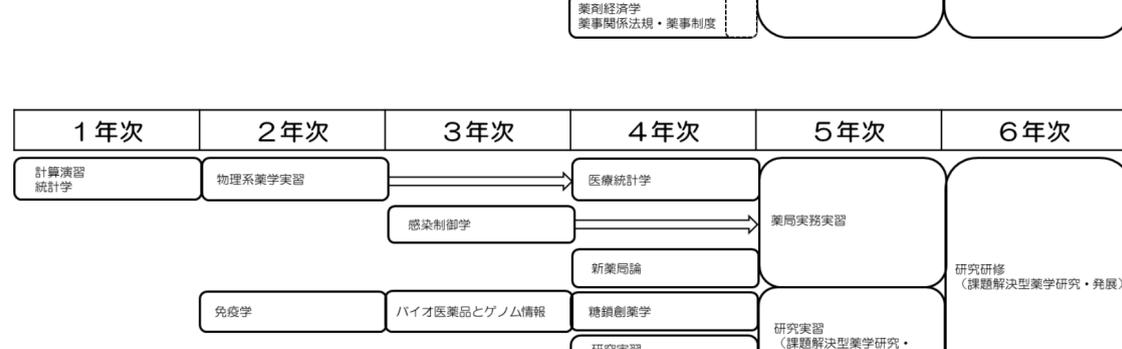
DP4:
「医薬品・化学物質」と「生体・環境」およびその相互作用について正しい知識を身につけ、さらにそれを応用する技能を有する



DP5:
西洋医学および東洋医学に基づく安全かつ有効な薬物療法を主体的に実施するために必要な薬学的管理を実践する能力を有する



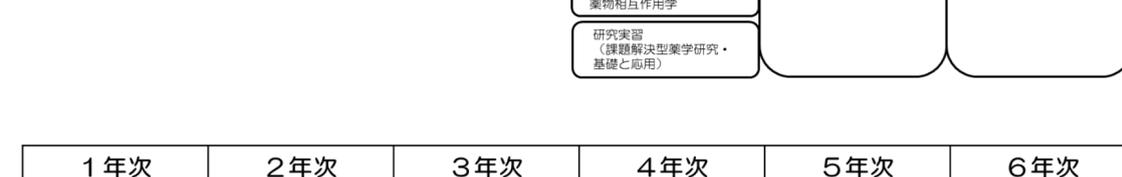
DP6:
地域の医療・保健・福祉に関する知識と、それを地域住民の健康増進、公衆衛生の向上に結びつける能力を有する



DP7:
研究活動に取り組む意欲を有し、研究課題を発見し解決する基本的能力を有する



DP8:
世界の医療・科学技術の進歩に迅速に対応できるよう、生涯にわたり自ら学び続けることができる



DP9:
次世代の医療を担う人材を育成し、医療の継続的な発展に貢献するため、後進を指導する意欲と態度を有する